

太陽電池の製造装置増産

エコム、浜松市に新工場

工業用熱処理装置メーカーのエコム(浜松市、高梨充社長)は浜松市内に新工場を建設する。延べ床面積約千七百平方メートルで、脱臭装置や太陽電池の製造設備などの生産を九月から始める。生産能力を二倍に引き上げ、売上高を五年後には現在の二倍の三十億円にまで伸ばす計画。市場が急速に拡大している太陽電池や環境関連設備の受注増に対応する。

市場急拡大に対応



建設中のエコム新工場(浜松市)

で完成品に仕上げて試運転などを行う必要が出てきた。このため場所にも余裕がある新工場の確保が急務になった。

新工場では太陽電池パネルや自動車の排ガスを浄化する触媒装置など環境関連の製造機器を中心

境関連の製造機器を中心

に生産する予定。太陽電池は市場が急速に拡大し

ており、シャープやホンダなど大手企業の設備投

資も盛ん。自動車の排ガス規制も厳しくなっており、触媒装置の生産も増える見通し。こうした生

産設備の受注はエコムでも一年間二・三割のペースで伸びている(岡田智志取締役)という。

同社の製品は注文ごとに設計がことなるため、本社の設計部署との密な

連携が必要になる。そのため、手続きに時間がかかるが、農地を転用して本社近くの場所に新工場の建設を決めた。市や県から工場建設に対して補助金が出る予定。

ライフストアー商品券仮配当率を18%強に決定

東海財務局

東海財務局は二十日、二〇〇六年十二月に破産した地場スーパーのライ

フストアー(静岡県島田市)が発行した商品券の仮配当率を決めた。一

月に千六百二十八人が還付手続きを申し出て、総額は約四千六百八十八万円だった。これに対し

同社の発行保証金は約八百五十万円で、プリペイドカードを含む商品券所有者が返還を受ける割合(配当率)は一八・一二

%になる。二十九日に意見聴取会を開いた後、正式な配当を決める。

商品券など前払い式証

書に臨む高台の観光施設

「サイロ展望台」では土産物コーナーで「祝サミット」

などを記した絵はがきや缶バッジの販売を始めた。洞

爺山ホテル和風(洞爺湖町)では夏の客室稼働率はセ

例年より一〇%高く、「サミット効果」が夏場にきて出

始めている」と言う。

洞爺湖町は二〇〇六年三月、旧虹田町と旧洞爺村が合併して誕生した。もとも

と観光の町だが、〇〇年に「国珠山の噴火で打撃を受け

た。洞爺湖温泉の年間観光客は三百二十万人(〇六年も

度と、噴火前に比べて一割減ったままだ。

一方、ザ・ウィンザーホテル洞爺の前身「エイベッ

クスリゾート洞爺」は総事

待が

静岡空港や第2東名整備

経済効果試算へ

静岡市が調査

静岡市は静岡空港や新東名高速道路など、今後岡

調査対象となるのは静岡市、空港や新東名整備を

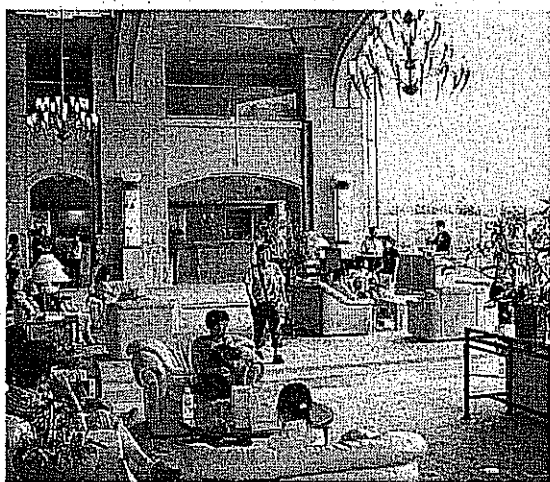
見越した戦略などを聞く。アンケート回答企業

のうち二十社にヒアリング調査する。

況、空港や新東名整備を見越した戦略などを聞く。アンケート回答企業

のうち二十社にヒアリング調査する。

洞爺湖(北海道・洞爺湖町)



ロビーがにぎわう「ザ・ウィンザーホテル洞爺」(北海道洞爺湖町)

サミット会場 日帰り観光

湖に臨む高台の観光施設「サイロ展望台」では土産物コーナーで「祝サミット」などを記した絵はがきや缶バッジの販売を始めた。洞爺山ホテル和風(洞爺湖町)では夏の客室稼働率はセ例年より一〇%高く、「サミット効果」が夏場にきて出始めている」と言う。